

第 2 回市民ワークショップについて

1 概要

第 2 次江田島市総合計画に、市民の思い・意見を反映していくため、市民（16 歳以上）によるワークショップを開催しました。

第 1 回市民ワークショップでは、市民の目線から「市民満足度の高いまちづくり」における 7 つの部門に関する取り組み（アイデア等）を、第 2 回市民ワークショップでは、市民の目線から「未来を切り開くまちづくり」における 4 つのプロジェクトに関する取り組み（アイデア等）を語り合っていました。

2 日時・場所

【第 2 回】

平成 26 年 7 月 5 日（土）

大柿分庁舎 3 階会議室

①午前 9：30～11：45

②午後 13：30～15：30

3 各班のメインテーマとする分野

【第 2 回】

A 班：「絵になる島」

B 班：「楽しめる島」

C 班：「自慢できる島」

D 班：「また来たい島」

3 参加者

午前：25 名 午後：21 名 述べ：46 名

種別	第 2 回		
	午前	午後	合計
男	14	14	28
女	11	7	18
計	25	21	46

種別	第 2 回		
	午前	午後	合計
10 代	8		8
20 代	3	2	5
30 代	6	3	9
40 代	4	4	8
50 代	1	2	3
60 代	1	6	7
70 代	2	3	5
80 代		1	1
計	25	21	46

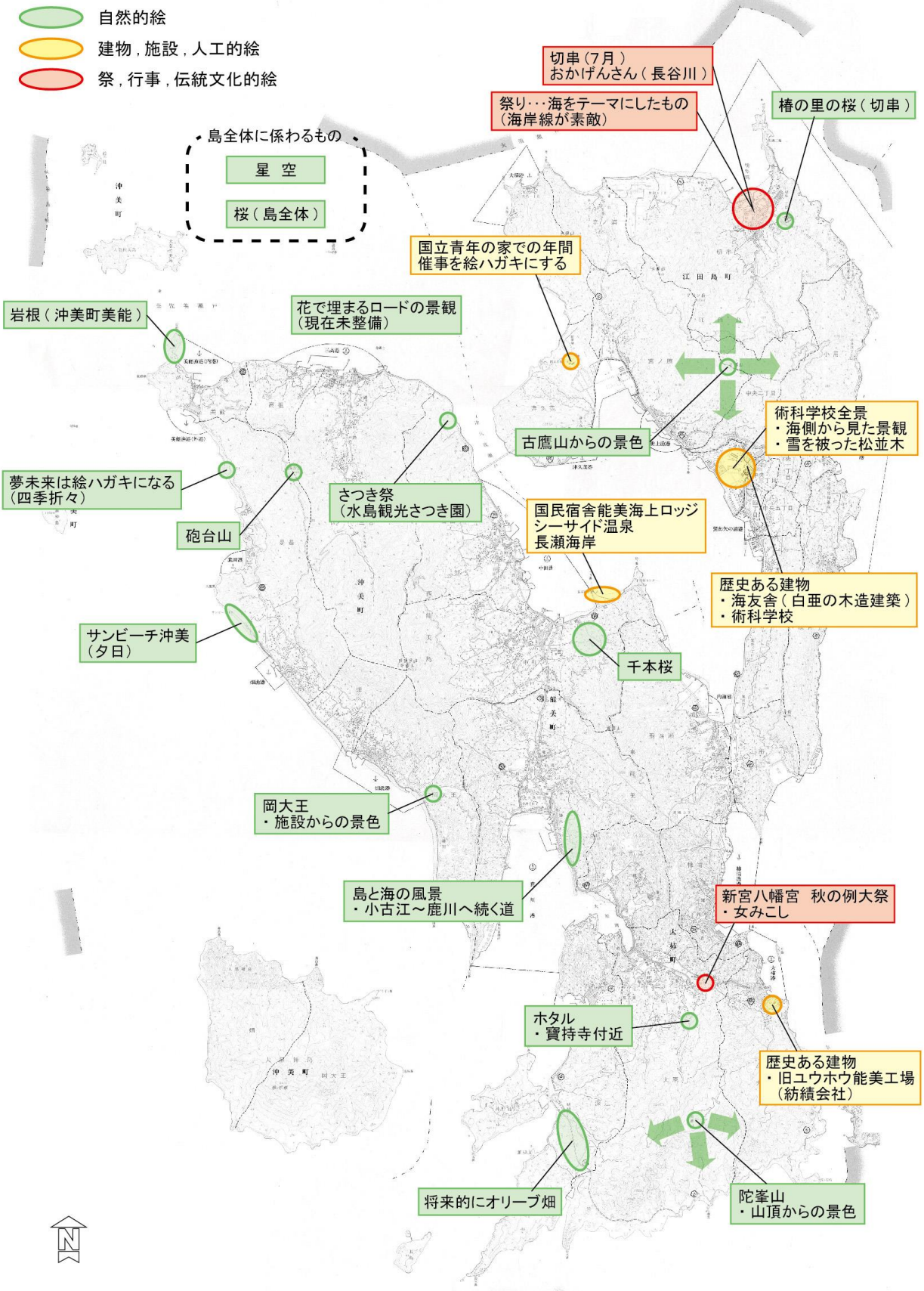
4 各会場の意見

次のとおり

A班 “え” 絵になる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わる こと	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター確保 ・地域おこし協力隊 ・各プロジェクトに関する財源と見積もりは？
景観創造 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・竹ロード・梅ロード・ヒマワリロード ・サクラソウで画風に ・ガーデニングの家族を紹介 ・オリーブによる景観づくり ・オリーブ搾油学習 ・空き地の活用 ・島の花で路端で飾る（ボランティアの参加） ・登山道・海岸の清掃 ・体験宿泊＋海岸や登山道の清掃（来訪者も参加） （島の自然にありがとうを） ・ごみ箱の設置 	—
景観マップづ くりプロジェ クト	<ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとにリスト作成 （例：神社、寺、建物、川→マップ） ・風景マップづくり ・桜のお花見マップをつくる ・季節毎のマップづくり ・地域の魅力づくりマップ ・観光客向けは多いが写真が小さい、わかりにくい ・江田島紹介パンフレット 	<ul style="list-style-type: none"> ・人集め（ボランティア募集）
江田島アート プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・えたじま建物のある風景フォトコンテスト ・季節毎の写真集、HPフォトギャラリー ・フォトコンテストの展示場所を人が集まる場所に ・アーティストインデジデンス（芸術家に滞在してもらおう） ・空き缶で絵をつくる ・フレームアート（自然が資源） 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の提供をどうするか ・各地の同様イベントの方法論などの勉強 ・空き家の活用
景観 100 選 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・島なみ風景のベストスポットをポストカードにする （場所も分かる） ・ポストカード作成（各地域に置いて、島全体を回ると集められるように。一覧で紹介も。） ・これまでの広報で使用した写真を再利用 ・写真、要素の募集 ・素材集め・ご自慢風景 ・インターネットで江田島景観ランキング ・商品付き投票 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い呼びかけ（一部にならないよう） ・公共の場で誰でもネット検索ができる場づくり
観光活用プロ ジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰りツアー（みかん、かき、オリーブ、温泉） ・お花見サイクリングキャンペーン ・江田島ホテル狩り（ホテルを育てて観光化する） ・観光客向けに景観を生かした観光マップを作る ・他の自治体と提携して観光マップ等を配布してもらおう ・テレビ局や新聞社への売り込み ・セブンイレブン等に特産品、パンフレット等を置いてもらう 	—

絵になるマップ（要素）



B班 “た” 楽しめる島（1/2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わる こと	—	<ul style="list-style-type: none"> ・官民共同で取り組める体制づくり ・ボランティアで参加しやすいような工夫 ・ボランティアの育成 ・元気な高齢者の活用方法 ・市議会議員の高齢化 ・JK課（若い視点での運営） ・やる気と人材（ホームページなどで） ・予算 ・民間との連携（お金）
情報・啓発・案内	<ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙活動（宣伝） ・食べる所の紹介など（お店がわからない） ・江田島の案内誌の発行、出した物のまとめ ・農業、漁業の窓口を広く（地元市民に知ってもらう） ・江田島市は遠いと思っているので、もっと近いということをお知らせ ・江田島市のHPをもっと活用して、サイクリング、体験ツアー等のPRをしたらどうか ・島の案内人（ガイド）を様々な分野でつくる ・キャラクターの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会と地元市民・店との情報収集 ・ガイドブックをつくるには江田島に来た人にアンケート
自然・花体験	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を使ったイベント（キャンプなど） ・体験ツアーの企画 ・漁協などと協力して、海・海底をきれいにする ・さとうみ科学館 広島市内からの小学生を対象にキャンプ+勉強会を企画 ・地区ごとに特色（花、菜の花、ヒマワリ…） ・花のテーマパーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ（さとうみ）などは教育委員会と連携したり、大柿高校とも連携してはどうか
海・山・登山道	<ul style="list-style-type: none"> ・海・山の整備（海水浴場だけではなく） ・登山道の整備 ・陀峯山をもう少し登りやすくてできればいいのでは。景観が良いので勿体ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道が獣道→整備を
農業・農地	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をしたい人を対象にし、畑の貸出や専門のサポートや休憩所、道具もついた畑 ・空き農地（荒らした地など）を利用して、ミカン、オリーブ農園を作る ・民泊をファミリー対象にして、今後も交流が持てるようにしていく。畑にキュウリや花を植えたりなど ・農園見学（花の体験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地整備。農業をできる体制にする為に、官民共同でしないと厳しいのでは ・農業貸出は土地所有者と借りたい人の間にJAが入り、トラブルのないようにする
資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ・旧海軍兵学校とタイアップしてそういうのが好きな人用の企画をつくる(ミリタリーバージョン)例えば、制服みたいなのを着るとか、訓練とか ・バスなどが立ち寄れる所、旧海軍兵学校の活用など 	—
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス（船など） ・道路の整備 	—
ルート	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートの案内(だいたい時間と何本かのルート) ・島内の循環型バス（見所めぐり） 	—

B班 “た” 楽しめる島（2/2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> サイクリングをする人の為に、宿泊施設を作る（自転車を持ち込みできるように） サイクリングの人たちなどが水分補給などできるトイレを完備した休憩所（自転車の整備もできれば） サイクリングロード・コースをつくる、わかりやすくする（見所の紹介も） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路が狭隘（土地の問題、平地が少ない、平地に民家が集中している）
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> 廃校をペンションに改造して、その中で昔の学校時代を思い出しながら勉強（学び）っぽい企画を。昼食は給食 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の使用（安全性、費用）
食	<ul style="list-style-type: none"> カキ小屋。カキが有名なので、もっとアピールしたらどうか。カキ祭りとかではなく、継続的にするとか 江田島らしい食をいっぱい作り、楽しむ オリーブを使った料理の提供（レストラン）：魚、猪等のジビエ 食事をする所が小さい所しかないので、観光客が大人数来ても食べれる所があればいい 船を使用した釣りの提供→釣った魚を宿泊施設でふるまう カキ運動会を開催して、昼食はカキを食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 料理人の招集（儲かるのか？） 食は地元の商工会と連携してメニュー・場所の開発
みやげ・特産品づくり	<ul style="list-style-type: none"> おみやげ（特産物）のNO1を決めるイベント 民泊の学生を対象にした学生に受けるおみやげ開発 カキ販売所がわかりにくい みやげ・特産品を宅急便で送りやすいように（サイクリング客など） みそや醤油屋が結構あるので、ノウハウを教えてもらいながらのmyみそ、my醤油づくり 	—
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 海山の幼稚園を開設し、しっかりと海・山のことを遊びながら学ぶ 就学前のお子さんがいらっしゃる母親をターゲットにした海遊びやお母さん達がリラックスできる企画 小さい子どもが遊ぶことができる公園 	—

C班 “じ” 自慢できる島（大柿高校生参加班）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
自然・景観	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や景色が良い ・海や山など自然がいっぱいある ・とにかく広くてきれいな海 ・緑に囲まれている ・定期清掃 ・ポイ捨てがちらほら見える・・ 	—
景観ポイント巡り	<ul style="list-style-type: none"> ・沖美サンビーチ、陀峯山 ・江田島の見て欲しいところをまとめたマップをつくる ・サイクリングルートをつくる ・サイクリングで運動と共に江田島の景色を楽しめる 	—
カヌー体験	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌー体験ができる ・カヌー体験者を募集してみる（チラシ作成） ・遠方からもたくさんの方が来る「MIKAN マラソン」でカヌーのブースを作り（紹介する場所など）、カヌーも出来るということ进行宣传 ・カヌー体験ができる場所を増やし、江田島を海上から見ってもらう ・カヌー＋サイクリングでスタンプラリーにして、集めたら景品が貰えるように 	—
カキの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・カキの養殖が盛ん ・江田島のカキの美味しさをもっとたくさんの人に知ってもらいたい 	—
料理開発	<ul style="list-style-type: none"> ・カキを使ったおせんべい ・カキシチュー ・地域ブランド（カキ、魚、オリーブ）を使って、様々な料理を提案してみる ・カキや小魚を合わせてご飯に合うふりかけを作る 	—
大豆うどん	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆うどんがおいしい ・大豆うどんをもっと広めたい ・大豆うどんをもっと色んな店を出してアピール ・自宅で大豆うどんを簡単に作ることができる大豆うどんセットを開発 	—
江田島のB級グルメ	<ul style="list-style-type: none"> ・お店を増やす ・カキの大豆うどん ・出汁を考える 	—
花の活用、体験、みやげ物	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動をして、きれいになった所に花を植え、花がいっぱいの島にする ・自分好みの花を合わせて、プリザードフラワーを作る ・江田島の花を使って、フラワーアレンジメント体験 ・江田島の花を使って花石けんや香水など香りが楽しめる物を作りたい ・花の色を生かした染め物や絵の具を作る 	—
高校生と旧海軍兵学校を結びつける	<ul style="list-style-type: none"> ・旧海軍兵学校で歴史を知ることが出来る ・山登り（兵学校） ・観光に来るにはちょうどいいと思う 	—
住みやすい島	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が良く、住みやすさがある ・自分たちが住むかはわからないが、住むためには観光・交流で仕事が出来れば起業したり、したい仕事が近くにあれば・・ ・江田島丸ごと体験バスの運行 	—

D班 “ま” また来たい島

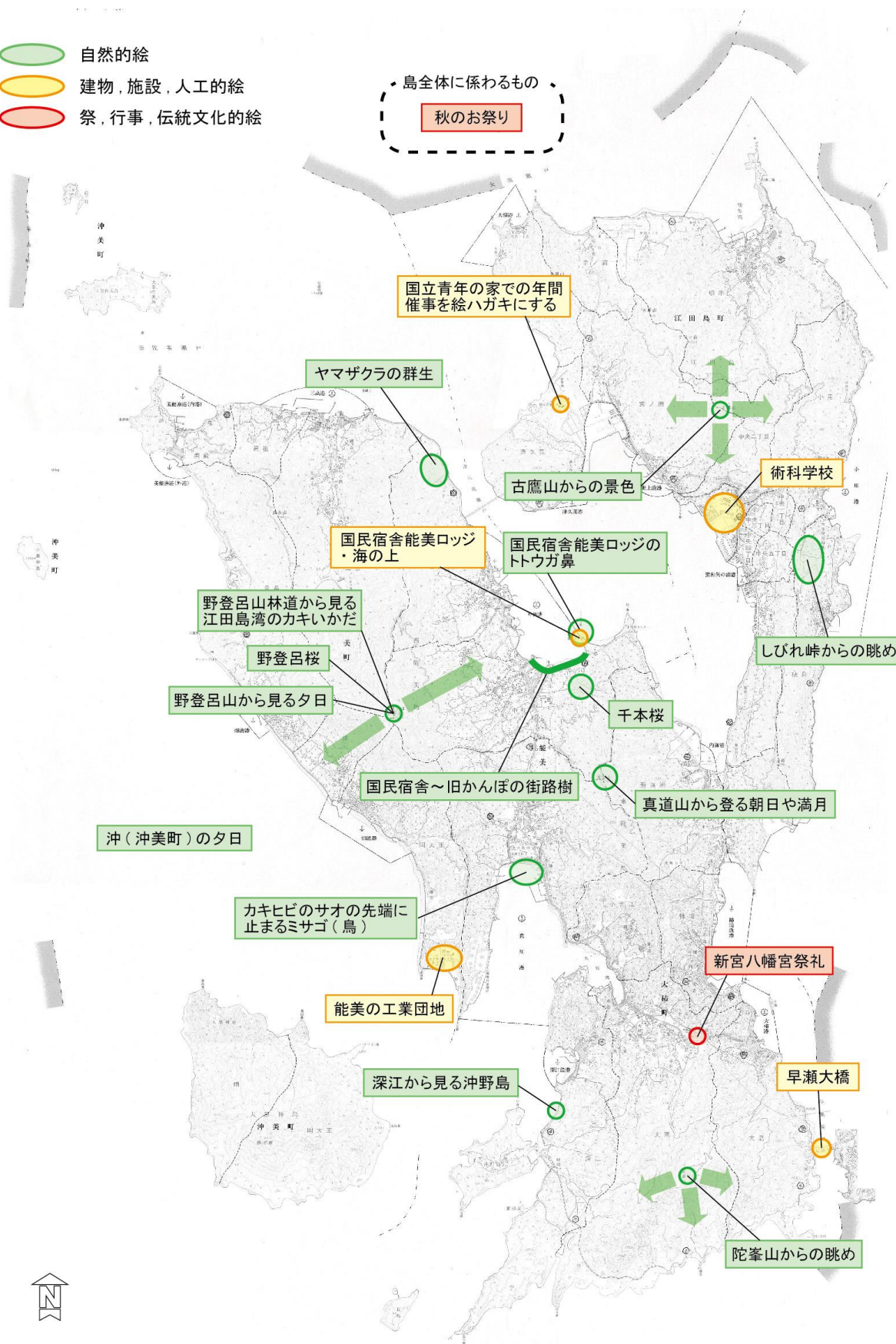
分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わること	—	<ul style="list-style-type: none"> ・メインターゲットを絞る（全てを一気に進めるのは資金的に難しい） ・定住につなげることをメインとするなら、子育て世帯に ・高齢者をターゲットにするなら、公共交通機関が必要 ・人材、後継者問題（体験型の指導者など）
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・島内のお店情報がわからない（店休日、場所…） ・情報を聞く場所がわからない ・桟橋や船にチラシは貼ってるあるが、使わない人は見ることがない（家族連れは車で呉経由でくる） 	—
マップ・HPの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マップにグルメ情報やサイクリスト用の傾斜なども記載 ・市のHPにもっと観光情報を載せる ・南区の小学校などにも情報を提供し、誘客を 	—
窓口・おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の質の向上（お店、住民ともに） ・情報窓口の対応する人の接客は市の顔になる ・島民の感じが良い事（あいさつが気持ちよくできる） 	—
道の駅などの施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光情報等を集約できる施設（情報の集まる所、道の駅など） ・道の駅に大きな遊具と食事施設を（海辺） ・サロン等を接待する場所にする（情報提供もする） ・空き店舗を活用して卓球などの遊べる場所を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金 ・立地（港の近くとか） ・呉方面からは大君迎り（今ある施設を使うとか）
子ども連れ対応施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる施設（鹿田公園にFRP製の遊具を） ・鹿川水源地のトランボリン（しかない・・・） ・田舎のメリットを生かして、冒険できるような公園 ・子育て世帯は、庄原備北丘陵公園や福富の道の駅まで行く（遊べるのでリピーターがいる） 	—
温泉施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉施設の整備 ・打たせ湯などの設備が止まっているが、料金は一緒 ・刺青の人がいると子どもは入りにくい ・家族で使える日を設ける ・能美海上ロッジをきれいにする（泉質は良いらしい） 	—
宿泊施設・食事処	<ul style="list-style-type: none"> ・沖美は景色がよいので宿泊できれば（学校跡など） ・江田島青年の家は個人で使えるのか不明（ベッド数は多いはず） ・施設を分散させずある程度まとめて（温泉＋食事など） ・食事処（特産を食べる所） 	—
体験型の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・観光するだけでなく体験する場などの企画・PR（潮干狩り、紙の折り物、竹炭工房、陶芸など） ・見るだけでは1度来て終わる ・夏休みのカヌー＋キャンプ（カヌー作りの見学）はリピーターが多いが特定の人しか知らない ・島でしか出来ない体験が必要 ・季節毎の果物狩り（イチゴ、ミカン） ・サイクリングロードの整備（草刈り、段差の解消） ・トライアスロンの開催（既存マラソン大会を拡充） ・SEAtoSUMMITのPR（カヌー、バイク、登山） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で技を持っている人の技術継承（紙の折り物とか・・・） ・フェリーの観光家族割引（1回来るのに費用が高い） ・団体客のバスが停まる場所 ・道が狭く大型バスが通行困難
景観向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミのない清潔な江田島に（道路の草、公園） ・シーズンオフの海が汚い 	—

A 班 “え” 絵になる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど	
全体に係わる こと	<ul style="list-style-type: none"> ・市民も再認識する, できることが重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がやるのか, 主になるのは? ・ボランティア登録(窓口は?) ・予算, お金 ・所有者の協力 ・市民への啓発 ・市民参加で体力や一手間を惜しまない ・市民の故郷愛を育てる ・10 年後を見る目(住民が共有する) 	
景観 100 選	お宝探し	<ul style="list-style-type: none"> ・絵になることを全て出し尽くす ・資源の情報収集, お宝探し ・動植物(ヤマザクラ, ハマナデシコ) 	—
	景観 100 選	<ul style="list-style-type: none"> ・絵になることをワークショップ参加者の投票で決める(例えば我が町(4 町)絵になるベストショット 10) ・地元の人や来訪者への募集 	—
	周知・P R	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったらHPで写真等を公表 ・個別のリンクを作る(サイクリング向け, 登山者向けなど) ・江田島からの売り込み(雑誌やテレビなど) 	—
	活用	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者に四季の写真などを送る ・観光事業者との連携でリピーター確保 	—
景観の 改善	空き家 など	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家, 古民家の活用(景観対策) ・空き家を少なくし, 市全体をきれいにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・不在家主の理解が必要
	海	<ul style="list-style-type: none"> ・島周辺のカキ殻の処理 ・海をきれいに 	<ul style="list-style-type: none"> ・カキ殻の再利用, 加工場作り
景観 づく り	道路沿 い, 登山 道	<ul style="list-style-type: none"> ・主要道路の環境整備(雇用を生む, 市外からの来島) ・林道, 登山道の整備 ・サイクリング向けの道路沿いの景観対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の美化(ボランティア)
	休耕地 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕地の整備(牛とか) 	—
	花の島 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・花の島をアピール ・家の周りに花を ・三高の電照菊, 高田のさつき園 ・道路沿いにプランター設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・花植えに補助金(家庭向けに, 安く購入を) ・エリアを決めてモデル事業
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・電線を埋める ・観光スポットの整備と継続的管理 	—

絵になるマップ（要素）

- 自然的絵
- 建物、施設、人工的絵
- 祭、行事、伝統文化的絵



B班 “た” 楽しめる島（1／2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わる こと	—	・リーダーが必要
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島のキャラクターを作る（情報発信も） ・みかん狩りのシーズン等，観光客が来るときに江田島をアピールする 	・情報が伝わっていない
行事・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の活動に参画してもらう（祭礼，盆踊りなど） ・地域の行事を継承・活性化する ・全市的なイベントを作る 	・行事，イベント，集客，PRが難しい
ツアー・パック・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアーパックを作る ・ヘルスツーリズム（ルート，支援体制づくり） ・瀬戸内海クルーズ（広域観光）の拠点の一つにする 	—
体験型観光づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験（芋掘り，みかん狩り） ・農業漁業の体験が楽しめる体制づくり（場所，指導者） ・釣り堀（切串など） ・カキ打ち体験等を企画する ・海のカキとみかんをもっとPRしてカキの作業実習を一般にってもらう ・カヌーが楽しめる設備，コースの整備 	—
景観・山・みちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地区による見所アピール（沖美の夕日，大柿の公園・海など） ・陀峯山，砲台山，古鷹山 ・美しい島（海，山）景観場所の整備（車道，山道，休憩所） ・六峰登山が楽しめる，移動，手段の整備 ・登山道や県道，市道の草 	<ul style="list-style-type: none"> ・山の草刈り等の整備 →シルバー人材など→雇用にも繋がる ・登山道やサイクリング道整備するのに費用が掛かる
海・泳ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場を作り，美しい海で子どもたちも呼ぶ ・海水浴場整備 ・海辺や海，観光地をきれいにする ・江田島には海があるのに泳げない子が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴問題，海水の鮮度クリヤー → 広域的に海をきれいにする取組 ・海水浴場（駐車場，柵・鮫避け，トイレの設置，シャワー）
特産品・ブランドづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・夕日の美しさや新鮮な魚，野菜のアピール ・特産品を作って，実習体験する ・江田島版の江田島食材を使用した料理（郷土料理）を自分で作る ・地元の食材を生かした様々な食事の場・食をつくる ・魚の干し物，さより，野菜（ドライ） ・メバルのブランド化 ・みかん等の柑橘類（ジュース） ・海外市場を狙った産品作り（カキ殻粉末） ・ドライフルーツ（イチジク，トマト） ・カキがブランドだが，観光客が気軽に入れる店がない。「カキ小屋」などを作る ・カキの殻やミカン皮を使った物をアピール ・地元の土や植物を使った陶器 ・竹炭製品（紙布＋竹炭，3F＋竹など） ・他地域との連携で新製品開発（産業振興・観光推進課） ・クックパッドのようなもの（江田島版） 	・開業資金の補助（自己資金が難しい場合）

B班 “た” 楽しめる島（2/2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
学校跡地活用	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうみ科学館の活用 ・空いている学校を活用して宿泊体験 ・サイクリストが泊まれる宿（1泊2日などゆっくりでき、島にお金を落としてもらう） ・旧高田小学校の活用（港も近い） ・空き地（廃校舎）などの利用で江田島ブランドの飲食店をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校活用，耐震構造や室内改修に費用が掛かる ・宿泊設備に改造するのに大変
アートのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術家の集う地域づくり（若い1ターンの芸術家がたくさん居る） 	—

C班 “じ” 自慢できる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わること	<ul style="list-style-type: none"> ・広島都市圏をターゲットにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画のみでなく，実践に向けての取組 ・参加者全員で頑張るため，市が誘導
島丸ごと体験（農林漁自然）	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業体験の場の提供 ・山野草体験 ・いなかで自然が多いので耕作放棄地での草刈り体験 ・山に登れば広島，呉，岩国，四国が見える眺望（パノラマ，夕焼け） 	—
インストラクターの養成	<ul style="list-style-type: none"> ・体験インストラクターの育成 ・世代間交流知識の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でまとまること
フラワー＋ガーデニング	<ul style="list-style-type: none"> ・花き団地農家 ・いちごのもぎ取り ・景観作成（遊休農地）のレンゲづくり ・蜂蜜づくり ・ガーデニング情報提供 	—
江田島らしい食づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の新鮮市場（地域ごとに） ・大豆うどん ・カキ料理店 ・海軍カレー，カキカレー 	—
島自慢ショップ作り	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会（島の駅，道の駅） 	—
島内案内	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストに不親切な地名と距離のみで分からない表示（地図が必要） 	—
若者定住へつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海の美しい景色やのんびりできる環境，大都市に近接 ・安い空き家の発掘 ・小学校～高校の塾を（高水準の教育環境） ・所得500万円（子ども1～2人で農業・漁業・観光（複合的）所得モデルを。通勤も可能） ・子育てを地域で支援 	—

D班 “ま” また来たい島（1／2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
全体に係わること	<ul style="list-style-type: none"> 市外から移住している人に意見を聞いて、実感していることを吸い上げる（ずっと住んでいる人には分からないことも多い） 	<ul style="list-style-type: none"> 住民がやろうという意気 地元において、地道にやっている人を全市から公募して表彰する（個人でも） 高齢化による担い手の減少 若い人をいかに活動に参加させていくか
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> フェリーなどの船員が観光ガイドを兼ねる 船にもパンフレットがない 看板、案内板がない 観光客向けのパンフレットを作成（今のパンフレットは情報の羅列で住民用にしかない） 観光案内ガイド本の作成（観光場所、食事処、交通の便など） 	—
おもてなしの心づくり	<ul style="list-style-type: none"> 接客が良いとイメージが良くなる（もう一度行きたいと思う温泉は女将の対応が良かったりするもの） おもてなしの心得を身につけ実践する心得講習会を開催する 島の人がリピーターを呼ぶ優しさを 人との繋がりが印象的に強くなっていくイベント開催（食事会など） 山下明夫の「島のひきおに」にあるように、島の外からの者を寄せ付けない所が江田島にも言える・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員が住んでいる地域の活動に積極的にボランティア活動で参加すれば地域も動く
子ども連れで遊べる場	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが楽しめ、遊ぶ場所があると良い。その近くに特産品売り場があれば、子ども連れは喜び（福富の道の駅とか） 家族で1日遊べる無料の公園（遊具がある公園） 既存の公園・施設を活用する 	—
交通利便性の充実	<ul style="list-style-type: none"> 港に女子大生数名が海水浴に来ていたが、海浜までの交通がなかった。これでは次に来てくれる可能性は低い 港から海水浴場までの交通がない 交通の利便性と低料金の設定（出したお金に費用対効果を感じられるよう） 船便をなるべくわかりやすい時刻に。交通の所要時間等のわかりやすさも（情報が少ない） バスの便が少ないので、イベント用のバスなど、交通便の改善 リピートで来る際に、何かが割引になったりすればよい（食事やフェリー代など） 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の言う財政が良くないから、お金がないではなく、いかにやるかが大切
島と山の活用	<ul style="list-style-type: none"> 美しい島づくり（海、山、道路沿いをきれいに保つ。シーズンオフの海が汚い、山は雑木と草でもっと手入れを） 海をきれいにして、スワンや海賊船などを浮かべて楽しむよう 山林を体験できる場として活用（放置竹林のたけのこ狩り、森林浴の森作りなど） 思い出スポット（若い頃を思い出させる場所があると良い→リピートしてくる場に） 	—

D班 “ま” また来たい島（2／2）

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容	壁・課題・解決アイデアなど
食事処の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 道の駅など拠点を作ってそこから島内に派生するよう • 子ども・大人が美味しい食事出来る場所（海の幸の子ども向けメニュー） • 山の上の見晴らしの良いところに食事処を • 食事所は個人でやっていることがあり、休みが不定期。各町でいつでも行けるところが欲しい • 特産品を使った食事の提供施設が必要（カキ小屋の常時設置など） • 売り場がないと特産品があっても意味がない • B級グルメの作成 	—
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> • 毎月参加してもらおう学校イベントを行い、1年間を通して学ぶ（昔、豊平の農業小学校は1年間通うと卒業証を貰えた） • 色んなイベント（お金がかからないイベント）をする（艦隊コレクションというゲームで海軍に興味を持った人を引き寄せ、市内の関連スポットを見て貰うとか。そういう人が来ていた） • 少年野球大会、少年サッカー大会の開催（鹿田公園などの利用） 	—
定住へつなが	<ul style="list-style-type: none"> • 住んでいる人が安全安心に暮らしていることが良い雰囲気になる • 医療・介護の連携が必要（定住につなげるには絶対条件） • 将来への安心感があれば若い人も定住する • 夢のプランと同時に具体的な事をしていくべき（市民満足度UP） • 住民が公共交通を使わないとバスもフェリーも減っていくばかり（切串港の無料駐車場がある限り、バスは使わない） 	—